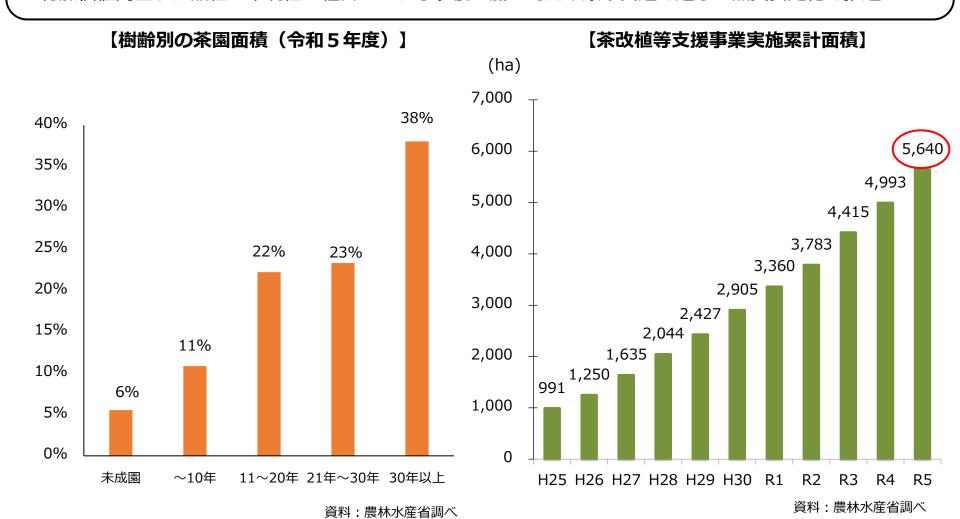
# Ⅲ-3 改植等による茶樹の老齢化への対応

- 茶園の約4割が樹齢30年以上と老園化しており**収量・品質の低下が懸念**される。
- 改植等の支援を行い、**茶園の若返りによる収量・品質の向上**を図るとともに、**優良品種**の作付けによる 付加価値向上や、品種の早晩性の組合せによる**収穫・加工時期の集中回避**を通じた品質安定化を推進。



# Ⅲ-4 主産県生産量・茶種別生産上位県

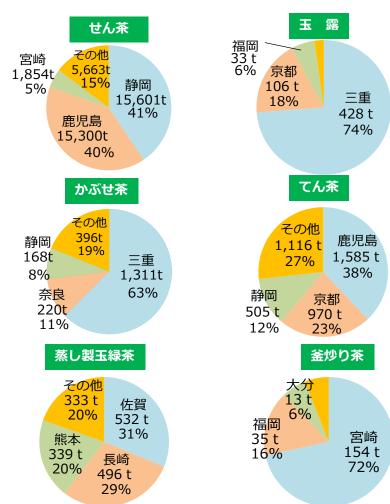
- 主産県**8県で全国栽培面積の83%、荒茶生産量の90%**を占める。特に、静岡県・鹿児島県の両県で栽培 面積の60%、荒茶生産量の71%を占める。
- 茶種別の生産上位県をみると、せん茶は静岡県・鹿児島県がそれぞれ約40%、玉露は三重県が74%、かぶせ茶は三重県が63%、てん茶は鹿児島県が38%、蒸し製玉緑茶は佐賀県・長崎県がそれぞれ約30%、釜炒り茶は宮崎県が72%となっており、**茶種による地域性**がみられる。

### 【主産県の栽培面積及び荒茶生産量(R5)】

順位	府県名	栽培 面積 (ha)	構成比 (%)	荒茶 生産量 (t)	構成比 (%)
1	静岡	13,300	37	27,200	36
2	鹿児島	8,140	23	26,100	35
3	三重	2,590	7	5,220	7
4	京都	1,530	4	2,640	4
5	福岡	1,490	4	1,750	2
6	宮崎	1,200	3	2,940	4
7	熊本	1,050	3	1,320	2
8	埼玉	726	2	793	1
全国		36,000	100	75,200	100

資料:農林水産省「作物統計」

#### 【茶種別生産量上位県(R5)】

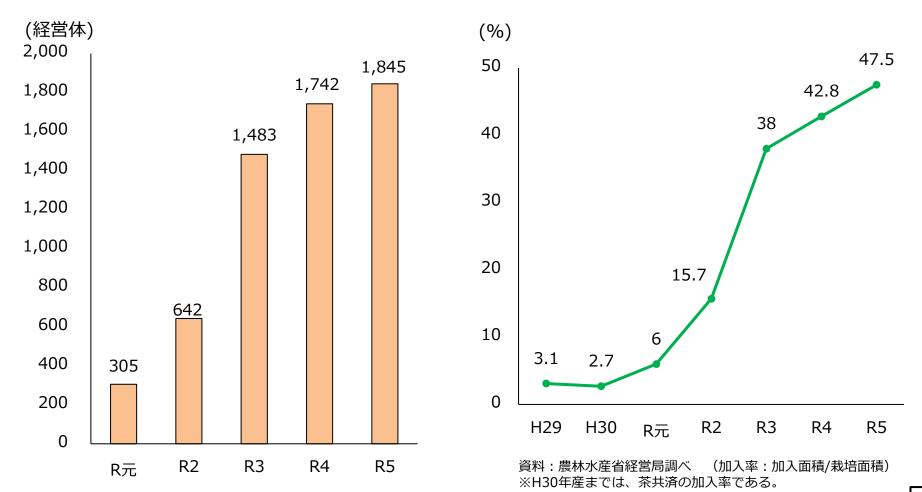


# Ⅲ-5 収入保険・共済加入状況

- 茶生産では、凍霜害、寒害、降灰等の自然災害のほか、販売価格の下落等のリスクが存在。
- こうしたリスクへの備えとして、**農業保険(収入保険、茶共済)を着実に推進。**
- 栽培面積に占める**加入面積は約5割**となっている。

# 【収入保険(茶)の加入状況】

# 【農業保険(茶)の加入率の推移】



資料:農林水産省経営局保険課調べ

# Ⅲ-6-1 スマート農業技術の研究開発及び実証・導入の推進

スマート農業技術を生産現場に導入・実証するスマート農業実証プロジェクトにおいて、茶については、静岡県、京都府、長崎県及び鹿児島県で5地区6課題の実証を実施。

実証地区		実施年度	実証内容	
(農) 茶夢茶夢ランド菅山園 ほか		R元~R2年度	茶園ネットワークの形成による、分散茶園の省力管理と茶園工場の品質コントロールを核とした、茶業経営一貫技術体系の実証	
	鹿児島県	R元~R2年度	IoT技術・ロボット化技術を活用した大規模スマート茶業一貫体系の実証	
鹿児島堀口製茶(有)		R2~R3年度	ローカル5Gに基づく自動運転および圃場センシング・AIなど営農・栽培データ解析による摘採計画の最適化体系及びシェアリングの実証	
(有)北本製茶園	京都府	R2~R3年度	中山間傾斜地茶園における高品質でん茶の省力生産体系の実証	
(農)東邦農園	静岡県	R3~R4年度	有機抹茶の輸出拡大に向けた中山間地域におけるスマート農業技術の導入による 産・加工・流通体制の構築の実証	
(農)長崎そのぎ茶萌香園 (株)FORTHEES	長崎県	R4~R5年度	生産から出荷までのデータ共有によるスマート茶業と茶園管理省力機械のシェアリ ングの実証	

## (農)東邦農園

実証面積:20ha(静岡県島田市)

- 輸出用有機抹茶の生産を行う当地区は、 中山間地域に位置し広域に分散した小規模 茶園が多いため、栽培管理において重要な 被覆適期の判断や、有機認証等にかかる管 理作業が負担となっている。
- 衛星画像生育診断や栽培管理見える化システムによる遠隔での茶園モニタリング、作業記録ツールによる輸出向け栽培管理等により、輸出量及び輸出仕向け先の増加、販売額拡大、作業時間削減を達成。



衛星画像生育診断



栽培管理見える化 システム

## (有)北本製茶園

実証面積:5.8ha(京都府南山城村)

- 中山間地では茶園ごとに気象等が異なるため、茶園単位で栽培管理の適期判断が必要で、巡回に多大な時間がかかる。さらに、防除等の管理作業の負担も平地より大きい。
- 茶生育等予測マッピングシステムとドローン空撮等のリモートセンシングの組み合わせによる茶園の確認、非熟練者でも防除可能な乗用型散布量自動調整防除機、生産管理システムの導入により、年間25%の作業時間削減を達成。



茶生育等予測 マッピングシステム



乗用型散布量 自動調整防除機

## 鹿児島堀口製茶(有)

実証面積:116ha(鹿児島県志布志市)

- 高齢化と労働力不足が深刻なため、茶業 全体のスマート化が必要。
- ロボット茶園管理機の導入等により作業時間を40%以上削減、品質と収量の最適化を図る茶生産情報の一元化と経営の見える化を達成。さらにローカル5G技術を活用して、ロボット農機の遠隔監視自動運転により摘採等の作業時間を56%削減、ドローンによる空撮データの伝送・解析時間を4G比で約半分に短縮等の効率化を達成。





ロボット茶園管理機 情報の

情報の一元化と見える化

- 今後約20年間で、基幹的農業従事者は現在の約1/4 (116万人→30万人) にまで減少すること等が見込 まれ、従来の生産方式を前提とした農業生産では、農業の持続的な発展や食料の安定供給を確保できない。
- このため、「スマート農業技術活用促進法」を制定し、計画認定者に対して税制・金融等の支援措置や各種支援事業の **優遇措置**等により集中的かつ効果的に支援を行い、農業の生産性の向上を図る。

#### スマート農業技術活用促進法の制定 (令和6年6月公布、同10月施行)

<令和12年度までにスマート農業技術の活用割合を50%以上に向上>

## 生産方式革新実施計画

・スマート農業技術の活用と人手による作業を前提とした栽 培方法の見直し等**新たな生産の方式の導入をセットで**相 当規模で行い、スマート農業技術の効果を十分に引き出 **す生産現場の取組を認定**し、生産性の高い農業を実現。

#### 【申請者】

・農業者又はその組織する団体

#### 【支援措置】

- ・日本政策金融公庫の長期低利融資
- ・ 行政手続の簡素化 (ドローン等の飛行許可・承認等) など



将来の姿

## 開発供給実施計画

・農業において特に必要性が高いと認められるスマート農業技術等 について、重点開発目標として明示し、これに沿ってスマート農業 技術等の開発や生産現場への供給を一体的に行う取組を国 が認定し、開発及び成果の普及を促進。

#### 【申請者】

・農機メーカー、サービス事業者、 大学、公設試等

#### 【支援措置】

- ・日本政策金融公庫の長期低利融資
- ・農研機構の研究開発設備等の供用等
- 第11回口ボット大賞農林水産大臣賞

・行政手続の簡素化(ドローン等の飛行許可・承認)など

「スマート農業技術活用促進集中支援プログラム」を創設(R7予算概算要求)

スマート新法に基づく技術開発・実用化、ソフト・ハードの一体的支援、スタートアップ支援の対象拡充、サービス事業者の育成・活動の促進等

社会実装の下支え

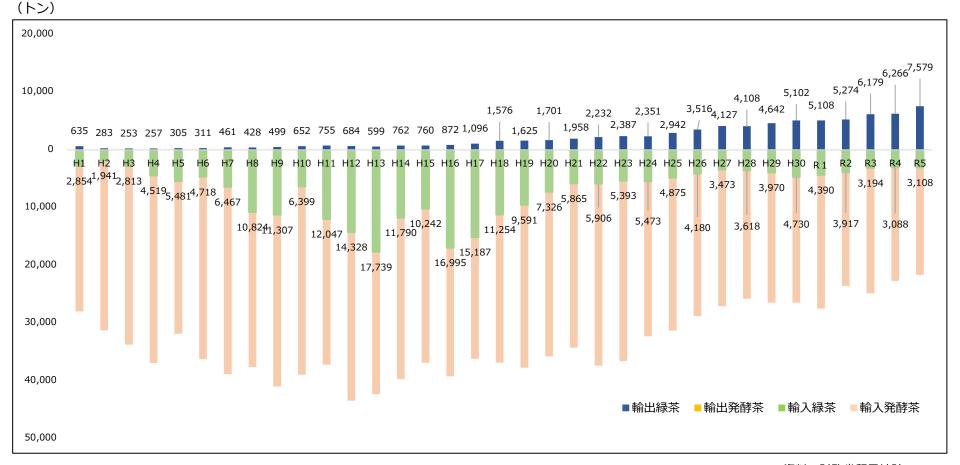
関係府省と連携したスマート農業技術活用の促進のための環境整備

# Ⅲ-7 輸入状況

○ 輸入量は平成16年に緑茶飲料向けとして急増したが、その後、緑茶飲料用原料の国産割合が 高まったことから、輸入量は減少し、近年は3~4千トンで推移。

## 【緑茶及び発酵茶の輸出入の推移】





資料:財務省貿易統計

# Ⅲ−8−1 消費拡大(多様な消費者層に向けたお茶の魅力発信)

- 様々な暮らしの中でお茶を楽しむ「日本茶と暮らそうプロジェクト」を令和3年3月から開始。
- 令和6年度は、産地や事業者等と連携して、「お茶の可能性は無限!~お茶×(かける)キャンペーン~」 を4月26日から開始。

日本茶に関する多様な取組「お茶×○○Ⅰ について情報を収集・発信

○ 事業者等から寄せられた情報の数:60件

(令和6年11月27日時点)

					_
茨城県	4件	岐阜県	1件	山口県	1件
埼玉県	5件	静岡県	12件	福岡県	3件
千葉県	1件	愛知県	1件	佐賀県	2件
東京都	10件	三重県	1件	長崎県	2件
神奈川県	具4件	京都府	7件	熊本県	1件
長野県	1件	兵庫県	1件	鹿児島県	₹3件

(※情報は、随時受け付け)

### ○ キャンペーンに関する情報発信

・農林水産省ウェブサイト ・省公式SNSにて にて取組等を紹介



#お茶かける #日本茶と暮らそうプロジェクト 等のハッシュタグを付けて発信

「お茶×GWI #お茶かけるキャンペーン https://www.maff.go.jp/j/sei





## 事業者から応募のあった「お茶×○○」の事例

### お茶×サウナ(茨城県)



お茶を五感で感じられる、新しい サウナ体験。日本茶の香りを吸い 込む新感覚ロウリュや、サウナト がりには、心も体も整う水出し茶 で一服できる。

## お茶×スポーツ(静岡県)



多種多様な香り(リラクゼーショ ン)や機能性(パフォーマンスの 向上) など、スポーツ時における お茶の利点を発信。

## お茶×メタバース(京都府)



VR技術を活用したお茶体験を開発 し、お茶に親しんでもらう機会創 出とお茶を囲んだ楽しい時間を提

## お茶×白桃(鹿児島県)



鹿児島茶の「さえみどり」と山梨 県産白桃をブレンド。お茶と白桃 の絶妙なバランスが心を落ち着か せ、癒してくれる。